

令和3年度 高冷地水稻生育速報(第2報)

岐阜県中山間農業研究所

1. 生育概況(6月15日調査)

調査日	年度	草丈 (cm)		茎数 (本/m ²)		葉色				葉齢	
						葉色板		SPAD値			
たかやまもち	本年	28.3	(86%)	357	(86%)	4.2	(+0.2)	37.6	(+0.8)	7.7	(+0.2)
	前年	38.9		535		4.3		41.5		8.3	
	平年	32.9		415		4.0		36.8		7.5	
あきたこまち	本年	28.1	(94%)	391	(101%)	4.7	(-)	42.3	(+2.9)	7.6	(+0.1)
	前年	35.9		405		4.8		43.4		8.3	
	平年	30.0		389		-		39.4		7.5	
ひだほまれ	本年	30.2	(90%)	317	(75%)	3.7	(-0.2)	37.1	(+0.5)	7.4	(-0.5)
	前年	39.6		535		4.3		40.3		8.6	
	平年	33.5		422		3.9		36.6		7.9	
ひとめぼれ	本年	26.8	(91%)	504	(101%)	4.2	(-0.2)	39.0	(-0.4)	7.8	(+0.3)
	前年	37.3		597		4.8		43.3		8.2	
	平年	29.6		498		4.4		39.4		7.5	
コシヒカリ	本年	29.4	(87%)	393	(82%)	4.2	(-0.2)	39.9	(+0.1)	7.5	(-0.1)
	前年	40.6		639		4.8		42.7		8.1	
	平年	33.9		480		4.4		39.8		7.6	

栽培条件: 移植5月14日 栽植密度22.2株/m² 1株4本稚苗移植 基肥N=0.5kg/a

平年値: 過去5年間(H28年~R2年)の平均値
()内の数値は対平年値

2. 気象状況と当面の管理

1) 気象概況

6月上旬の気温は平年よりやや高く推移しており、日照時間は平年より多かった。

2) 生育概況

生育は草丈は平年より低く、茎数は平年並み~平年より少ない。葉色は平年並みである。葉齢も概ね平年並みである。5月は活着不良により生育が悪かったが、6月に入り生育は回復傾向にある。

3) 病害虫等の発生状況

イネドロオウムシの発生が見られるが発生数はそれほど多くない。

4) 今後の管理

「中干し」は生育促進、土壌中のガス抜き効果がある。また、秋作業を楽にするためにも6月末~7月上旬までに実施するようにする。ただし、分けつが平年より遅れ気味なので茎数に応じて中干し時期を検討する。中干し後は間断灌水を行う。また、健全な生育のため7月上旬までにケイ酸カリを施用する。

中干しを行う目安(1株あたりの茎数)

たかやまもち: 23本

あきたこまち: 23本

ひだほまれ: 17本

ひとめぼれ: 21本

コシヒカリ: 20本

※坪当たり60株植えの場合

令和3年(2021年)の気象図

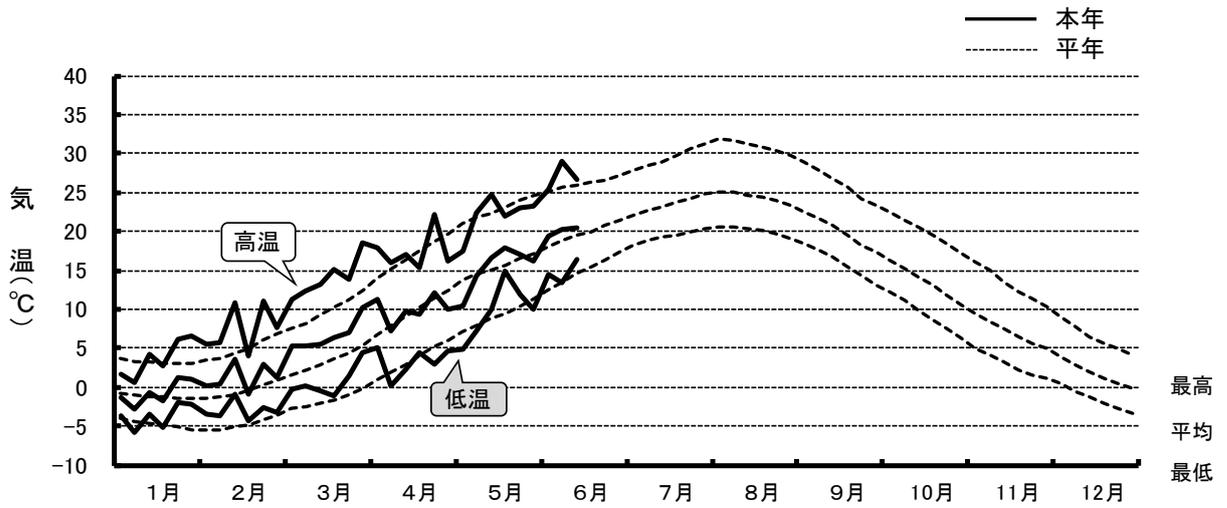


図1 本年度の半旬別気温の推移(高山市)

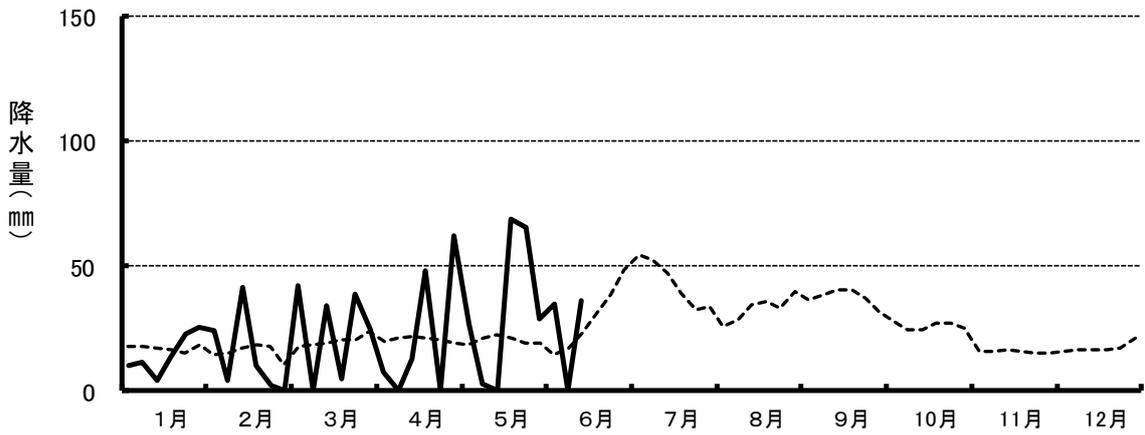


図2 本年度の半旬別降水量の推移(高山市)

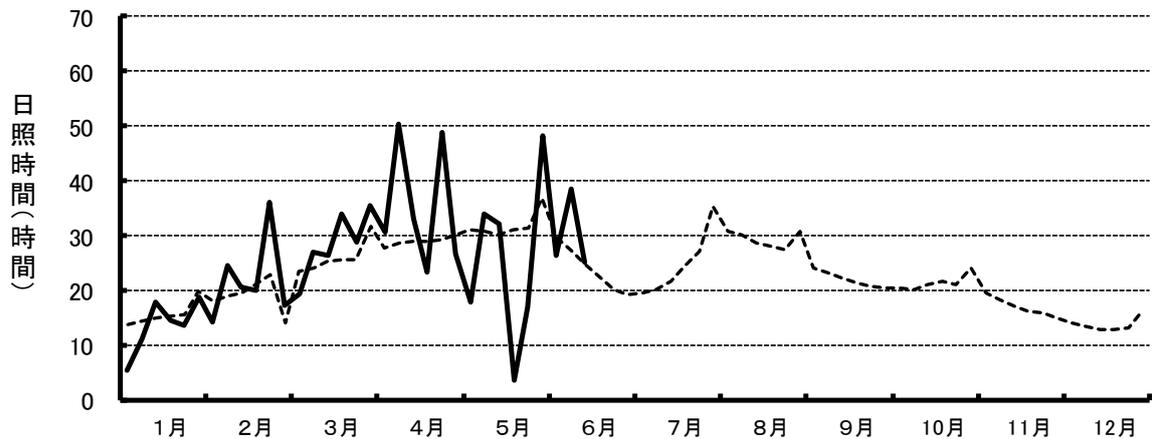


図3 本年度の半旬別日照時間の推移(高山市)

データ: 高山特別地域気象観測所